



2014年10月24日(金)～

11月6日(木)の活動

○ 三経連要望活動

10月24日(金)

東京都

三経連(北陸、北海道、東北の三つの経済連合会)は、第19回三経連経済懇談会での決議を受け、10月24日(金)に、政府および与党への要望活動を実施した。

北経連の永原会長、北海道経連の大内会長、東北経連の高橋会長らが、太田国土交通大臣、竹下復興大臣、自民党の谷垣幹事長、与党整備新幹線建設促進PTの町村座長、御法川財務副大臣、平内閣府副大臣らに面会し、次の5点について要望した。

- ①東日本大震災被災地域の復興の加速化に向けた支援等の強力な展開
- ②産業・生活に不可欠なエネルギーの安定供給と低炭素社会実現に向けた対策の推進
- ③地域産業の競争力強化や新産業育成に向けた支援体制の強化
- ④地域社会・経済の自立的発展と災害に強い地域づくりに向けた社会資本整備の促進
- ⑤国内外に対する観光戦略の推進

永原会長は、北陸新幹線の平成26年度末の確実な金沢開業、金沢から敦賀までの大幅な工期短縮による早期完成・開業、大阪までのフル規格による早期全線整備や、北陸地域の持続的成長に向けた産業競争力強化などを強く要望した。(担当:宗田)

○ 平成26年度第1回先端技術推進委員会

11月5日(水)

金沢市

金沢都ホテルにおいて、「平成26年度 第1回先端技術推進委員会」が開催され、今回より新たに委員に就任した各大学の学長をはじめ14名の委員が出席した。

今年度事業の実施状況、評価および次年度事業の方向性について審議し、事業活動のテーマ選定や産学連携活動の充実など、今後の事業について意見交換した。

委員会終了後、「ものづくり産業の直面する課題と展望」と題して経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長西垣淳子氏の講演会を行い、企業・団体から約70名が聴講した。

講演会終了後、講師の西垣室長と先端技術推進委員会の委員が参加して懇談会を行い、北陸の企業の動向や経済産業省の政策などについて意見交換を実施した。(担当:平田)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。
会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。
(TEL076-232-0472)

○ 高信頼システム情報交換会・北陸

10月30日(木)

富山市

北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)と共催で「IoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)時代の産業創出に向けて」と題して講演会を実施した。北陸先端科学技術大学院大学 丹康雄 教授をはじめ5名の講師が、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTの最新動向について講演し、企業・団体から参加した約70名が聴講した。(担当:平田)

○ あいの風とやま利用促進協議会

10月28日(火)

富山市

富山第一ホテルにおいて、「あいの風とやま鉄道利用促進協議会」が開催され、石井富山県知事、各自治体首長、角崎北経連理事事務局長など、約40名が出席した。

石井知事は挨拶の中で、「運賃の認可申請を行った。ファンクラブ募集や、利用促進施策、フリー切符など開業に向けた検討・準備を進めている。」と述べた。

事務局からは、運賃の認可申請、乗り継ぎ割引、快速増便について説明があった他、沿線市町の取組みや、ファンクラブの募集等の紹介があった。

その後の意見交換では、新型車両の導入や、駅周辺のWi-Fi環境の整備、駅舎内のエレベーター設置などの要望が出された。(担当:小林)

○ 北陸環境共生会議幹事会

10月28日(火)

金沢市

金沢市内で、第28回北陸環境共生会議幹事会が開催された。幹事会には3県環境政策課長など6名が出席し、本年8月～10月に開催された各県環境フェアへの出展評価や27年度事業方針について意見交換した。

環境フェア出展については、当会義の実施するエコ省エネ実験・実演に対して、各県より高く評価する意見が相次ぎ、来年度も同テーマで引き続き出展することを決めた。また、FCV(燃料電池車)に関する講演会・セミナーなどを開催し、北陸での新たな環境技術開発の啓発活動に行政・産業界一体となって取り組むべきなどの意見があった。(担当:吉井)

○北経連トピックスNo.101 (H23.6.2発行分)

より当連合会HPに掲載しております。

バックナンバーのお問い合わせは青嶋まで。

(TEL076-232-0472)